

令和6年度農業食料工学会東北支部大会 ベスト発表賞

【受賞事業】

ロボットトラクタの無人道路走行を利用した
複数台運用による省力性の検証

【受賞者】

農林総合研究所 千葉 祐太、高橋 泰生

【受賞理由】

スマート農業の中でも農業機械の無人運転は重要な技術です。
将来的には、ロボット農機を一人の作業者が複数台運用して、
これまでにない省力化を実現することが目標です。

今回は農機メーカーが開発中のロボットトラクタの無人道路
走行の機能を利用して、作業員1名が2台のロボットトラクタ
を運用した場合の省力性を検証しました。

これは全国的にもまだ例のない実証試験であり、先進的な研
究成果が評価され、学会でのベスト発表賞を受賞しました。



授賞式【令和6年8月21日】

作業員1名が
2台のロボットトラクタを
無人で運用している様子